

# 口腔ケア

クルリーナブラシ



腹臥位療法  
(朝夕2回)

合併症の予防  
(誤嚥性肺炎)



# 昭和大学病院における“相談業務”

- ①看護部が主体的に運営していた患者相談窓口
- ②緩和ケアに関するチームの活動
- ③MSWが専ら扱う医療福祉相談
- ④公費などによる支援に関する事務の窓口
- ⑤管理栄養士らによる栄養相談
- ⑥薬剤師による薬に関する相談
- ⑦地域医師会会員などからの紹介に応じる窓口
- ⑧入院に関する相談（入院病床の調整）
- ⑨いわゆる退院調整
- ⑩その他

別個に歴史を刻んだ⇔専門集団が専門領域を提供する  
別個に業務を開始した⇔医療を提供する側の事情

病院医療の  
あり方そのもの

- ①職種間の有機的な連携
- ②組織間の合理的な協働
- ③“患者の利便性・満足度”



患者相談窓口のシステム化「総合相談センター」へ！



総合相談センター長

副センター長

患者相談担当

緩和ケア担当

退院調整担当

医療福祉相談担当

医療連携担当

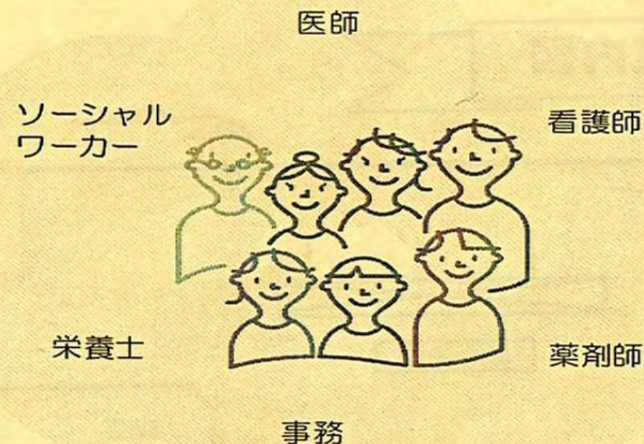
公費・労災・自賠責担当

ベッド調整担当

栄養相談担当

薬相談担当

## 昭和大病院 での試み



以下の相談を担当者が対応いたします。

医療上の安全に関する相談  
診療に対する支援  
入退院支援に関する相談・調整  
地域との連携  
経済的問題に関する相談  
社会保険・福祉制度に関する相談・調整  
心理的問題・家族相談  
薬に関する相談  
栄養指導に関する相談  
在宅医療支援

看護職  
その他  
“協働”  
患者も

# 質のよい病院医療

まとめ「職員一人々々に」

## ① チーム医療の重視

初療→助け合い(多職種)→専門医→リハビリ等  
チーム医療のシステム化(クリティカルパスなど)  
多領域合同カンファランス **地域への広がり**

## ② 診療の責任体制 病院医療そのもの

主治医・担当医(主治医ではない)の明確化  
診療録の記載・診療録運営体制(開示等)  
診療行為の責任・指導体制

担当医・当直医の処方・画像の再確認等

## ③ 病院組織の一員であることの認識

組織的な医療は「病院運営の根幹」という認識  
**リスクマネジメント**における対応手順の遵守

包括的指示  
看護職・他  
の対応等!

# 質のよい病院医療

まとめ(つづき)

若手や他の職種に  
教えることも!(森岡)

## ④倫理性の確保

職業倫理(マナー・モラル・守秘義務・説明と同意・  
患者の人権等)に関する意識の向上

## ⑤倫理上の諸問題(手術・検査・投薬・麻酔・輸血・・・)

院内感染・職域間の連携も倫理的な観点から!

## ⑥医療連携 地域への広がり

院内各科各部署・患者(家族)との連携・院外との連携  
⇒“包括的な”診療

## ⑦専門診療と総合診療のあい方

5時が来たら一般医(でないといわない! )  
9時になったら専門医(でOKということ! )

“患者・家族との協働”  
Adverse Eventの意味・訳  
「逆事象」(↑↑が↑↓へ)  
有害事象? 医療事故?